

平成 27 年 1 月 30 日
沖縄電力株式会社

平成 26 年度 第 3 四半期決算について

1. 販売の状況

当第 3 四半期(累計)における当社の販売電力量は、電灯はお客さま数が増加したものの、台風の影響や前年と比べ夏場の気温が低めに推移したことによる需要減から、前年同期に比べ 1.8%減の 22 億 23 百万 kWh となりました。また、電力においては、業務用電力における新規お客さまなどによる需要増に加えセメント業や鉄鋼業における需要の増加の影響から、前年同期に比べ 0.2%増の 36 億 87 百万 kWh となりました。

その結果、電灯と電力(特定規模需要を含む)の販売電力量合計は、前年同期に比べ 0.5%減の 59 億 10 百万 kWh となりました。

2. 収支の状況

当第3四半期(累計)の収支については、収入面では、電気事業において販売電力量の減少があったものの、燃料費調整制度の影響などにより電灯電力料が増加したことや、再エネ買取額の増加により再エネ特措法交付金が増加したことから、売上高(営業収益)は前年同期に比べ50億53百万円増(3.7%増)の1,434億63百万円となりました。

一方、支出面では、電気事業において減価償却費などの減少があったものの、燃料費、固定資産除却費等の増加に加え、再エネ買取量の増加により他社購入電力料が増加したことから、営業費用は前年同期に比べ86億97百万円増(7.1%増)の1,318億3百万円となりました。

その結果、営業利益は36億44百万円減(23.8%減)の116億60百万円となりました。

また、営業外損益を含めた経常利益は34億83百万円減(24.8%減)の105億73百万円、四半期純利益は23億90百万円減(23.0%減)の80億15百万円となりました。

3. 業績予想

平成26年度通期の業績予想については、売上高は1,849億円、営業利益は77億円、経常利益は60億円、当期純利益は44億円を見込んでいます。

売上高については、連結子会社における外部向け売上高の増加はあるものの、電気事業において燃料費調整制度の影響による電灯電力料の減少が見込まれることから、前回発表(10月31日)より3億円減を見込んでいます。利益については、連結子会社において営業利益の増加が見込まれることから、前回発表より営業利益が2億円増、経常利益が2億円増、当期純利益が1億円増を見込んでいます。

別紙：決算の概要

以 上

【決算の概要】

■販売電力量

(単位：百万 kWh)

		平成 26 年度 第 3 四半期累計(実績)	平成 25 年度 第 3 四半期累計(実績)	増減	増減率
	電 灯	2,223	2,263	△40	△1.8%
	電 力*	3,687	3,679	+8	+0.2%
	合 計	5,910	5,942	△32	△0.5%
参 考	民生用需要	4,881	4,936	△55	△1.1%
	産業用需要	1,029	1,006	+23	+2.2%

※電力には、特定規模需要を含む。

■連結経営成績 (2年ぶりの増収減益)

(単位：百万円)

	平成 26 年度 第 3 四半期累計(実績)	平成 25 年度 第 3 四半期累計(実績)	増減	増減率
売 上 高	143,463	138,410	+5,053	+3.7%
営 業 利 益	11,660	15,304	△3,644	△23.8%
経 常 利 益	10,573	14,056	△3,483	△24.8%
四半期純利益	8,015	10,405	△2,390	△23.0%

○連結業績予想 (平成 26 年度通期：2年ぶりの増収減益)

業績予想については、平成 26 年 10 月 31 日に公表した予想数値から修正しています。

■連結業績見通し比較 (対 10 月公表値)

(単位：百万円)

	平成 26 年度通期 今回発表予想数値	平成 26 年度通期 前回発表予想数値 (10 月公表)	増減 (対 10 月公表)	平成 25 年度 実績
売 上 高	184,900	185,200	△300	179,266
営 業 利 益	7,700	7,500	+200	8,693
経 常 利 益	6,000	5,800	+200	6,936
当期純利益	4,400	4,300	+100	4,731